

# 富山大学地域連携推進機構生涯学習部門における 2021 年度の実施事業について

矢口 忠 憲

(富山大学地域連携推進機構生涯学習部門長)

要旨：富山大学地域連携推進機構生涯学習部門において 2021 年度に実施した事業の概要を報告する。主要な事業である公開講座の開設数は 49 講座、オープン・クラスの公開科目数は 826 科目、サテライト講座 5 講座に加え、昨年に引き続き企画した特別公開オンラインセミナー（16 講座）であった。また、「学校教育推進」「社会人教育推進」「産学官金連携事業推進」の 3 分野においてデータサイエンスに関連するリカレント講座を実施した。



## はじめに

2021 年度事業の特徴として、データサイエンスに関連するリカレント講座等を実施し、県内のデータサイエンス教育の推進を図ったことが挙げられます。開講した講座を大別すると 3 つに分けられ、一つ目は「学校教育推進（県内小・中・高・特支への I T C ・ D S 教育支援）」として、教員研修支援・児童生徒支援・P T A 研修支援の実施。2 つ目は「社会人教育推進（社会人向け講座及び体系的なカリキュラム構築）」として、各種公開講座の実施。3 つ目は「産学官金連携推進（企業、自治体における D X の推進・支援）」として、D X 学修セミナー・D X 実践ワークショップの実施になります。

合わせて、2020 年度に入って新型コロナウイルス感染症が拡大、2 年前の報告書の挨拶で多種多様なニーズに応えるべく講座の企画もさることながら、学び方（スタイル）そのものも見直さなければならぬとし、新たに特別公開オンラインセミナーを企画し実施しました。2020 年度は 19 講座、2021 年度は 16 講座で、

内容としてはアフターコロナに関連するテーマが中心でした。確かに運用面での難しさや課題はありましたが、全国各地から多くの受講生が聴講してくれるなど、今後の公開事業のあり方を考えるに当たり大変参考になりました。今回は無料の講座としていましたが、今後は従来の公開講座と同じく、有料のオンライン講座も検討していきたいと考えているところです。

また、今年度は「全国国立大学生涯学習系センター協議会」が本学で開催されました。残念ながら遠隔での開催となりましたが、無事当番校としての役割を果たす事ができ、「生涯学習機会の提供と地域人材の育成」のテーマで充実した情報交換、意見交換ができました。

2021 年度は、本学の第 3 期中期目標・中期計画の最終年度でありました。次年度からは第 4 期中期目標・中期計画（令和 4～9 年度）に基づいて本部門も時代のニーズに応えるべく変革を目指します。目標を「リカレント教育の質向上」とし、総合大学としての特色を生かして高い水準を目指す。①これからの社会人の基礎能力となる数理・データサイエンス・A I 教育を地域に普及させる。②課題解決（共創力）や

高度な専門能力を身につけられる実戦型リカレント教育を実施するとしています。

With コロナも含め、大学を取り巻く環境も年々厳しさを増していますが、地域の生涯学習の拠点として、若者世代、現役・子育て世代、シニア世代のそれぞれのニーズを意識しながら、引き続き、多様な学習機会の提供に努めていく所存です。

ここに刊行いたします生涯学習部門年報第24巻は、昨年度の生涯学習部門の取り組みを総括し、今後の事業展開へ向けた基礎資料・指針を提供するものです。

以下、本年報の内容は、当部門が実施してきた2021年度事業の概要報告、公開講座・オープン・クラス等の実施状況報告、本部門専任教員による研究論文、委員会等の開催状況報告、そして事業報告資料集となっております。

本書を通して、当部門の事業をご理解いただき、今後のより一層充実した生涯学習活動へ向けて、みなさま方の忌憚のないご意見・ご要望をお寄せいただけましたら幸いです。

## 1. 生涯学習事業

### ① 公開講座

本学は数多くの公開講座を実施しています。この事業は、本部門に設置された全学的な公開講座専門委員会で企画が審議・承認され、本学教員の大学開放に対する深い理解・協力のもとで実現されています。

ジャンルごとの開講数でみると、教養講座で27講座、語学講座で9講座、体験講座で13講座、計49講座が企画されました。前年度は新型コロナウイルスの感染拡大の防止のため、後期みの開設となりましたが、2021年度は前期、後期とも開設することができました。それぞれの受講者数をみると、教養講座で244名、語学講座で88名、体験講座で122名、合計454名になりました。

公開講座は、一般市民の学習ニーズとうまくかみ合った企画であることから、多くの講座が例年恒例の形で実施されます。語学では、中級から上級へとステップアップする講座が開設されています。

極めて多彩なジャンル・レベル設定を備えた講座の数々について、ここで詳細に述べつくことはできません。しかし、多くの一般市民が受講していることや、本年報収録の受講生アンケートの結果をみると、大学の知的資源を地域社会に還元するという目的はおおむね達成できていると評価できます。

### ② オープン・クラス

オープン・クラスは、正規学生に対する授業を一般市民に開放する取り組みです。

前年度は新型コロナウイルスの感染拡大の防止のため、前期は全て中止となりましたが、

2021年度は前期、後期とも開講することができました。

2021年度の開講科目は826科目（前期421、後期405）、延べ受講希望者数は240名（前期157、後期83）、試聴等を経て実際に受講した者は156名（前期92、後期64）でした。

2021年度後期は昨年度開講された後期と比べ、延べ受講者数が5名減少しましたが、前期・後期とも開講できたことにより、全体で87名増加しました。

また、大学院の授業科目を、ハイ・グレード・オープンクラス（HGOC）と称して正式に公開し、より高度で専門的な授業科目を学びたい方のニーズへの対応を図っています。

### ③ 講師等紹介

本部門では学外からの講演会・研修会等のための講師派遣依頼に応じて、本学教員の紹介をおこなっています。講師の選定とともに、企画段階でも学習（研修）プログラム作成に協力しており、2021年度は、本部門において、約22件の講師等の紹介を行いました。

なお、講師等紹介には本部門を経由せず、各学部に申し入れて実施されているケースもあることを申し添えておきます。

### ④ サテライト講座

サテライト講座は、本学教員の研究成果を一般市民に向けて開放する講座で、受講しやすいように受講料無料、事前申込不要で毎年開講しています。前年度より開催場所を富山大学五福キャンパスとし、9つの学部から1名ずつの教員が講師となって開催されます。2021年度は、予定していた4講座が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。結果的には5講座が開講され、総計276名（1回平均55名）

の受講者が集まりました。

2021年度

## 富山大学サテライト講座

“知りたい”をここから～富山大学の“知”と出会う～

多彩な専門分野を有する富山大学の教員陣が、日ごろの研究成果を皆様に向けてわかりやすくお話しします。

時期 14:00～15:30 定員 各講座とも80名程度(事前申込制、先着順) **受講料無料 事前申込制**

会場 富山大学五福キャンパス 経済学部 201講義室、共通教育棟 C21番教室

|   |   |
|---|---|
| <p>第1回 令和3年 4月17日(土)</p> <p><b>精神疾患治療薬開発を<br/>目指して</b></p> <p>薬学部 教授 新田 淳美</p>                      | <p>第6回 令和3年 10月30日(土)</p> <p><b>微分ちゃ、役に立つがけ～。</b><br/>微分できない方が好きな数学者のお話</p> <p>理学部 教授 藤田 安啓</p> |
| <p>第2回 令和3年 5月15日(土)</p> <p><b>富山大学に古墳が! 富山市杉谷<br/>古墳群の調査とその意義</b></p> <p>人文学部 教授 高橋 浩二</p>         | <p>第7回 令和3年 11月6日(土)</p> <p><b>くらしの中のユニバーサル<br/>デザインを考える</b></p> <p>人間発達科学部 准教授 水内 豊和</p>       |
| <p>第3回 令和3年 6月19日(土)</p> <p><b>足趾力測定・足育セミナー</b></p> <p>医学部 教授 金森 昌彦</p>                             | <p>第8回 令和3年 12月4日(土)</p> <p><b>倫理と経済—アダム・スミスは<br/>「人間」をどのように見ていたか?</b></p> <p>経済学部 准教授 松山 淳</p> |
| <p>第4回 令和3年 7月10日(土)</p> <p><b>ヴィクトリア朝の女性作家たち—<br/>プロンテ姉妹とギヤスグルを中心に</b></p> <p>芸術文化学部 講師 小田 夕香理</p> | <p>第9回 令和4年 2月5日(土)</p> <p><b>災害時における大渋滞の<br/>発生メカニズムとその対応策</b></p> <p>都市デザイン学部 教授 中川 大</p>     |
| <p>第5回 令和3年 8月28日(土)</p> <p><b>摩擦を知って<br/>安心・安全な生活を!</b></p> <p>工学部 教授 小熊 規泰</p>                    |               |

### ⑤ その他の講座・イベント

#### ・まちなかセミナー

北陸地区国立4大学連携まちなかセミナーは、北陸の4つの国立大学が、それぞれテーマを設定し、富山・石川・福井の各会場に相互に講師を派遣し合う取り組みです。

富山会場は、2021年11月21日(日)に富山大学経済学部講義棟201講義室で、「3.11から10年、防災の今を考える」と題し開催しました。本学都市デザイン学部の原 隆史 教授をコーディネーターとし、福井大学、金沢大学から講師を迎えて、講演とパネルディスカッションを行い、56名の受講者と活発な意見交換を行いました。

北陸地区国立4大学連携協議会  
令和3年度 北陸4大学連携まちなかセミナー 富山会場

# 3.11から10年、 防災の今を考える

日時: 令和3年 11月21日(日) 13:30～16:00

会場: 富山大学五福キャンパス経済学部201講義室(富山市五福3190)

定員: 80名(事前申込制)

コーディネーター: 原 隆史 (富山大学都市デザイン学部・教授)

入場  
無料

**◆本セミナーについて**

3.11から10年、テレビや新聞でも多くの特集が組まれてきましたが、大切な【大きな災害が起こり得ることを忘れてはならない】ことではないでしょうか。そこで今回のセミナーでは、「北陸における災害リスクを知る」という観点、そして「我々に必要な備え」を知る観点から2人の先生に講演いただき、防災の今について考えていきます。

**講演1 「地震被害と地形・土質条件の関連性—あなたの街の災害リスク—」**

小嶋 啓介 (福井大学工学部建築工学科建築設計工学講座・教授)

新水干野や福井平野は約6千年前の縄文海浜の時代に形成されており、平野の表層は新しく堆積した軟弱地盤の形成され構造を有していることから、地震や水害のリスクが高いといえます。はじめに福井地域の震害の概要を示し、平野の形成過程と地盤分布ならびに震害との関連性を考えます。次に、地震被害を決める要因、特に軟弱地盤による地震動の増幅について説明し、来賓者自身の住まいの地盤ならびに水害などの災害リスクを確認してもらい、災害に対する心構えを再認識して頂きます。

**講演2 「災害を忘れないために」**

小林 俊一 (金沢大学理工研究域地球社会基盤学系・准教授)

「天災は忘れた頃にやってくる」。これは物理学者で数学者の岡田南彦の言葉とされています。大きな災害に遭わずに過ごすのが良いに決まっていますが、一生遭遇しない保証はありません。もし遭遇したらどうしたらよいのでしょうか。大地震、大津波、土砂災害など、大多数の人にとって未知の体験である大規模な自然災害を身近に感じてもらうため、日頃から大学生に講義する中で中心に扱っている取り組みを紹介いたします。

お問合せ ● 富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門  
〒930-8555 富山県富山市五福3190 TEL: 076-445-6956 E-mail: life@long@ctg.uoyama.ac.jp

主催 富山大学 / 金沢大学 / 福井大学 / 北陸先端科学技術大学院大学 後援 富山県教育委員会 / 石川県教育委員会 / 福井県教育委員会

#### ・高大連携

小杉高等学校との高大連携事業に関する覚書に基づき、教養教育科目のうちオープン・クラスとして開講している授業に同校から生徒を毎年受け入れています。

前年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。2021年度は、18名の生徒が「哲学のすすめ」などの授業を受講し、2021年9月6日(月)の事後研修報告会后に、修了した生徒は本学から修了証書が授与されるとともに、同校から卒業単位1単位が認定されました。

#### ・富山大学市民講座2021

本講座は、読売新聞北陸支社の共催により、毎年一般市民を対象に、関心度の高いテーマを選定し、複数の本学研究者が体系的・学際的に講演を行う無料の講座です。

2021年度は「データで創る未来」と題して、

2021年11月13日(土)に3名の教員が講義を行い、78名が受講しました。



**富山大学市民講座2021**

**データで創る未来**

富山大学が学を上げて取り組む「データサイエンス」のいま、社会には大量のデータが蓄積されておりそれらを活用して教育の課題、都市の課題、地球の課題といった様々な社会課題の解決が模索されています。

市民講座では、富山大学のデータサイエンスを活用した様々な取り組みを紹介します。

**1 教育の未来**  
エンrollment・マネジメントで  
つくる医療人材育成の未来  
14:10-14:50  
関根道和 学術研究部医学科 教授

**2 都市の未来**  
都市の郊外化と未来  
14:50-15:30  
唐渡広志 学術研究部社会科学系 教授

**3 地球の未来**  
天気予報・気候変動問題における  
データサイエンス  
15:40-16:20  
安水数明 学術研究部都市デザイン学系 教授

令和3年 **11月13日(土)** 14:00-16:30  
会場 富山大学黒田講堂 (五福キャンパス)  
対象 高校生以上 定員 200名 (事前申込制)

●問い合わせ申込み ●富山大学地域連携推進機構  
〒930-8555 富山県富山3190 TEL: 076-445-6091 メール: info@ctq.uoyama.ac.jp

●主催: 富山大学地域連携推進機構 ●共催: 読売新聞北陸支社 ●後援: 富山県

・オンラインセミナー

Society5.0 やSDGs、カーボンゼロ等に対応する社会実現に向け、本学では「人」と「地」の健康を科学する大学」をスローガンに多様な取り組みを行っています。これら本学の先端研究を広く一般の方々に知っていただきたく、特別公開オンラインセミナーを企画しました。Web会議アプリ Zoom を使用した遠隔授業を行い、対面での受講も可能として、全16講座が無料で開放されました。

延べ受講者数は1485名となりました。



University of Toyama

**富山大学 2021年度 特別公開オンラインセミナー**  
**“人”と“地”の健康を科学する大学**

新型コロナウイルス感染症が深刻な影を落とす中、世界が抱える課題やわが国が直面を待っている事柄が明らかになってきました。富山大学では、コロナ禍の終息を待つのではなく、Society5.0 やSDGs、カーボンゼロ等に対応する社会実現に向け、「人」と「地」の健康を科学する大学」をスローガンに多様な取り組みを行っています。本オンラインセミナーでは、富山大学の先端研究を知っていただくことで、皆様と共に変革を創り出す契機にしたいと考えています。ご自宅で受講できますので、お気軽にご参加ください。よろしくお願いいたします。

受講無料の16講座  
対面でも受講可

対象は「Zoom」ミーティングに参加可能なインターネット環境がある方  
定員は各講座100名(事前申込制)  
20名まで五福キャンパスにて対面でも受講することが出来ます  
受講料無料 申し込み方法は裏面をご覧ください

1限: 9:30~10:15 2限: 10:45~11:30

5月29日(土) 1限 「社会の革新を牽引する富山大学の取り組み」  
齋藤 滋 / 富山大学長

2限 「“人”と“地”の健康を科学する富山大学の深い研究」  
北島 勲 / 富山大学理事・副学長

6月5日(土) 1限 「新型コロナウイルス感染症の最新情報」  
山本 晋裕 / 富山大学学術研究部 医学系感染症学講座 附属病院感染症科/感染制御部 教授

2限 「長引くコロナ禍でのストレスマネジメント」  
西山 志満子 / 富山大学保健管理センター 講師

6月12日(土) 1限 「富山大学の未病研究プロジェクト」  
門脇 真 / 富山大学学術研究部 未病研究センター 企画 研究リーダー、富山大学名誉教授

2限 「ビッグデータでみる富山の健康:メタボマップの作成」  
関根道和 / 富山大学学術研究部 医学系長 教授

6月19日(土) 1限 「関き生むアイドリング脳」  
井ノ口 馨 / 富山大学アイドリング脳科学研究センター長、富山大学卓越教授

2限 「伝統から生み出す革新」  
林 暁 / 富山大学芸術文化学部附属芸術部長、富山大学卓越教授

【※8講座は裏面に掲載】 ※ZoomはZoom Video Communications, Inc.の商標

2. 学外との連携

① 令和3年度生涯学習推進懇話会

2022年3月11日(金)、多岐にわたる本部門の事業の成果や改善すべき点を把握するため、令和3年度生涯学習推進懇話会を開催しました。なお、1999年度開催の第1回大学開放推進懇話会からの通算では23回を数えます。

② 全国協議会

2021年9月14日(火)～15日(水)に開催された、第43回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会に専任教員と事務職員が参加し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン会議にて意見交換を行いました。2021年度は、本学が当番校でした。

### ③ 北陸地区大学間連携

2021年12月10日（金）に、富山大、金沢大、北陸先端科学技術大学院大、福井大の各大学スタッフによる専門委員会が開催されました。2021年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Web会議システム Zoom を用いて開催し、2021年度まちなかセミナーの反省・次年度の企画について意見交換が行われました。

・ Web

大学開放に関する情報発信として随時 Web サイトを更新しています。

## 3. 広報・出版活動

### ① チラシによる広告

公開講座、オープン・クラス、サテライト講座について、新聞へのチラシの折込みや広告の掲載を実施しました。加えて、富山県内の各種学習施設や公民館等に配布依頼を行い、富山市、高岡市、射水市の広報誌や、スマホアプリによる広告の掲載も実施しました。

その他の事業についても、事前にチラシを作成し、県民カレッジや各地の公民館等に配布しました。

### ② 出版物

- ・ 公開講座、オープン・クラス、サテライト講座、市民講座のチラシやポスターを作成しました。
- ・ 公開講座、オープン・クラスの募集要項を作成しました。

### ③ メールや Web を利用した広報活動

・ メールマガジン

メールマガジンは、おおよそ 800 名に対し概ね 2 ヶ月に 1 回のペースで発信し、117 号～121 号の計 5 件を配信するに至りました。